



# 変化の時代。経済界の 果たすべき役割は大きい

三菱UFJフィナンシャル・グループ社長

## 亀澤宏規

かめざわ ひろのり

# 世

界は、大きな変化の時代を迎えている。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きつつある中で、

世界はポストコロナの新たな成長に向けて動き始めている。一方、ロシアのウクライナ侵攻を契機に鮮明化した国家間の分断は、グローバル化の巻き戻しを加速させ、サプライチェーンの混乱等によるインフレを引き起こすなど、私たちを取り巻く環境は歴史的な転換点に直面している。経済社会の激動期であることに加え、デジタルやグリーンの世界も大きく動いている。生成AIの出現はこれまでの「プロセスや分析のDX（デジタルトランスフォーメーション）」から「思考のDX」へと次元を大きく変える動きである。気候変動問題での脱炭素化もいよいよ産業政策と結び付き、地球規模の課題解決と同時に各国が今後の成長機会を取り込もうとしのぎを削っている。

我が国が、こうした世界の大きな変化の流れに柔軟に対応し、長年にわたる閉塞状況を打ち破って未来を切り拓いていくためには、イノベーションの創出に向けて、グリーン・トランスフォーメーション（GX）とDXを軸とした成長分野への投資と、それ

を支える人への投資をいかに大胆に拡充できるかが問われており、民間の果たすべき役割は大きい。とりわけ分散化・多様化が進む時代においては、個々が主体的に価値創造力を高めると同時に、オープンに他のステークホルダーと新たな価値を協創できる経済社会のダイナミズムが必要である。

経団連が、「Society 5.0 for SDGs」と「サステイナブルな資本主義」の旗を掲げながら、企業の変革のモメンタムを高め、持続可能な経済社会の実現に向けて、民の力を引き出す役割を果たすことが、日本がこの難局を乗り越え、新たな発展の道筋を切り拓くうえで重要な局面になると考えられる。

こうした重要な局面において、このたび副会長を拝命し、責任の重さに身が引き締まる思いであるが、これまで培ってきた知見と経験を活かしつつ、与えられた使命を全うすべく取り組んでまいりたい。同時に、経済法規委員長を務めさせていただくこととなった。デジタル化の進展など環境が急速に変化する中、健全な市場競争の実現や企業活動の活性化、日本企業の国際競争力向上につながるビジネス環境の整備に取り組む所存である。会員の皆さまには、「指導・ご鞭撻をお願いしたい。」